

令和元年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業概要一覧

NO	対象事業	申請団体名	代表	交付決定額	決算額(円)	交付確定額(円)	事業名	事業内容	事業効果	実施期間	実施場所	参加人数	備考
1	スタート事業	亀岡寺キャン実行委員会	代表 松本 義啓	200,000	905,835	200,000	寺キャン	山寺である神蔵寺でのキャン＝寺キャン(マルシェ、キャンドルナイト、夜座、寺ヨガ同時開催)を通じて、亀岡の自然の魅力を実感してもらう。マルシェでは、地元産野菜を出品してもらうことにより、地元住民とキャン参加者の交流にも繋がる。	山寺という地域資源を活かし、家族で楽しんでもらう場を提供できた。マルシェでは亀岡産野菜を認知してもらう機会に繋がり、地元自治会や他団体にも協力してもらうことで、横の連携が生まれた。	平成31年4月1日～9月30日	神蔵寺	キャン 52名 当日単発プログラム 16名	
2	スタート事業	地域共生ピアサロン・シェノン	代表 坂田 三千代	200,000	212,233	200,000	そよ風のように街に出よう!地域共生社会実現に向けたがん患者等のためのピアツアー等運営事業	がん患者・家族とまわる地域共生ピアツアーを通じて、がん患者の外出を支援し、がんと向き合う人が経験を共有してともに考え、亀岡の自然と風土の中で人生を満喫する機会を提供することで市民としての生きがいや居場所を創出する。	参加者同士の交流、学びを深める機会の創出により、「健康長寿・幸せのまち亀岡」の「地域共生デザイン」についてイメージを持ってもらえた。デリケートな課題であるので、参加人数を重視するのではなく、当事者に参加してもらいやすい環境を提供できた。	令和元年5月1日～令和2年3月31日	ル・シェノン(下矢田町)、金剛寺 他	地域共生ピアツアー告知 40名 地域共生ピアツアー(外出支援)2回 計13名 地域共生ピアツアー講演会 5名 地域共生ピアツアー研修 5名	
3	ステップアップ事業	赤熊:この先4年楽しく暮らそう会(略称:赤熊楽暮会)	会長 日下部 健	150,000	200,896	150,000	音羽川溪流と半国登山道に係る環境整備事業	・登山口から「音羽の滝」まで、川沿いに生い茂る雑木を切り、美しい景色が見えるようにする。 ・山頂に向けて、道案内ポイントの看板設置 ・登山口の約400メートルにもみじの苗木を植える	雑木の伐採や登山道の誘導テープや看板の取り付けにより、登山者がより楽しむことができる環境を提供できるようになった。また、地元高齢者の散歩道にもなることで健康維持にも寄与できる。事業を通して、自治会とも繋がりができた。	平成31年4月1日～令和2年3月31日	半国登山道(東本梅町赤熊地内)	整備出役人数116人	
4	ステップアップ事業	一般社団法人育ちとつながりの家 ちとせ	代表 石田 千穂	105,000	283,445	105,000	困っている人の指とまれ	同じようなしんどさを抱える親同士が繋がりがあ、本音を打ち明け、また、問題解決や行政・NPOの支援に繋ぐなどの適切な対応ができる場として、勉強会と交流会を年4回開催する。	不登校や引きこもりの子どもに対してその保護者、周りの大人が子どもの特性を正しく理解し、生活の中で具体的にかつ適切な支援が行えるようにアドバイスをすることで、参加者に気づきを得てもらうことができました。	平成31年4月1日～令和2年2月2日	育ちとつながりの家ちとせ(千歳町)	事業実施3回 合計96名	
5	ステップアップ事業	大井町文化振興会	会長 松山 一男	60,000	131,047	60,000	第3回大井町文化発表会	文化面の活動と交流を盛んにするために、第3回大井町文化発表会を開催する。全世代の住民の交流が図れるよう、チラシの全戸配布等、幅広い手段で広報を行っていく。	各サークル活動の中で文化発表の場があることを知らせてもらい、認知度の向上に繋がった。また、だれでも参加しやすい新規企画を計画することで参加者を獲得した。観客も増加した。	平成31年4月30日～令和2年3月15日	大井小学校及び大井町内	文化発表会参加者約160名	
6	市民連携事業	特定非営利活動法人プロジェクト保津川(連携先)特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク	代表理事 原田 禎夫	400,000	546,989	239,000	子どもの未来を守ろう～親子で考えるかめおかプラスチックごみゼロ宣言	子育て世代を対象に、保護者及び親子向けの講座等を開催し、海洋プラスチック汚染の現状を知り、「ごみゼロ宣言」の周知と、ごみの削減方法を学ぶ。 ・講座(1回) ・ワークショップ(2回) ・シンポジウム(1回)	ワークショップ参加者から「よく理解できた」という声が多数であり、問題を身近に感じてもらうことができた。 飲食店向けの事業から大麦ストローの試作が始まるなど、取り組みが広がりがつつある。	平成31年4月1日～令和2年3月31日	ゆりかご広場、ふらっとHOUSE 他	親子向けワークショップ2回 計22組 飲食店向けワークショップ 10名	シンポジウム(2月29日予定)は新型コロナウイルスのため中止

☆令和元年度事業として交付決定した「丹波亀山郷づくり研究所」の事業「亀岡市歴史偉人・伝行事デジタルアーカイブ構築事業」については、団体の事情により令和元年度における実施を中止される旨の申請があったため、中止を承認し、交付決定を取り消しました。